

令和4年度 第2回支援コーディネーター全国会議  
令和5年2月17日

## 長崎県における 小児高次脳機能障害の取り組みについて

長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター  
(長崎県高次脳機能障害支援センター)

太田尾 有美

## 長崎県について

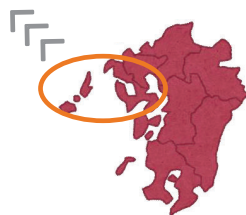


人口 (R4.10.1現在)

全年齢 1,282,571人

▼ 総人口の **15%**

18歳未満 192,887人



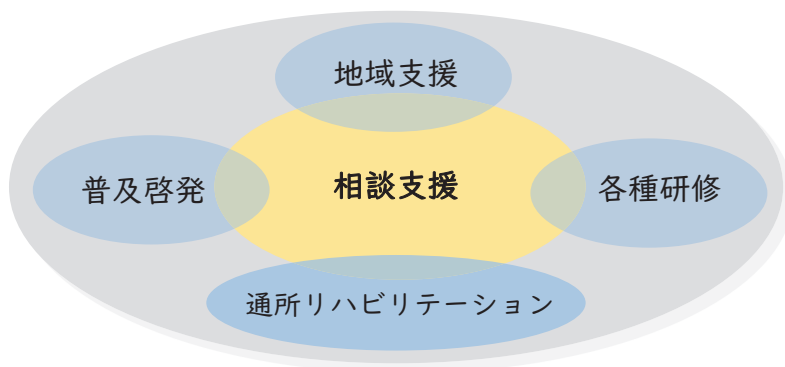
# 長崎県高次脳機能障害支援センター



長崎県長崎子ども・女性・障害者支援センター

■実施主体：長崎県

■開設：平成19年7月2日



3

## 目次

- 01 小児高次脳機能障害実態調査
- 02 調査結果に基づいた取組
- 03 家族会発足に向けた取り組み
- 04 よりよりホームズの紹介
- 05 まとめ

4

## 目次

- 01 小児高次脳機能障害実態調査
- 02 調査結果に基づいた取組
- 03 家族会発足に向けた取り組み
- 04 よりよりホームズの紹介
- 05 まとめ

5

## 小児高次脳機能障害実態調査（H27年度）

### ■ 目指すもの

小児期の受傷発症から途切れのない支援体制整備

### ■ 調査の目的

現状と課題、支援ニーズの把握

### ■ 調査から明らかになった問題点

#### 医療部門

- ① 医療従事者の認知（↓）
- ② 訓練・療育方法が未確立
- ③ 心理検査の未実施

#### 教育部門

- ① 教職員の認知度（↓）
- ② 外部機関との連携（↓）
- ③ 引継が脆弱



高次脳機能障害が**見落とされている**可能性が高い  
医療機関と教育機関の**連携**は充実しているとは言い難い

6

## 今後の取り組み

---

直接的支援



組織化活動  
(連携)



教育・  
普及啓発



7

---

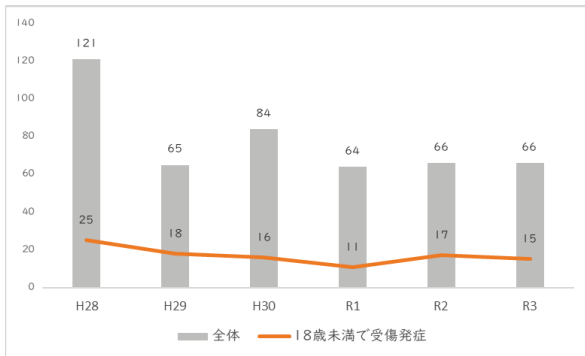
### 目次

- 01 小児高次脳機能障害実態調査
- 02 調査結果に基づいた取組**
- 03 家族会発足に向けた取り組み
- 04 よりよりホームズの紹介
- 05 まとめ

8

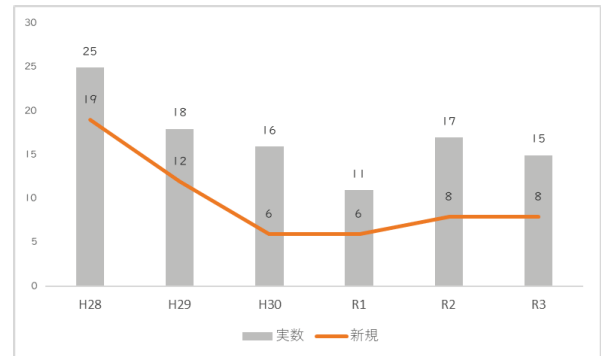
## 相談支援（H28～R3年度）

①相談件数（実数）



全体の **2割** を占める

②新規ケース数（18歳未満受傷発症）

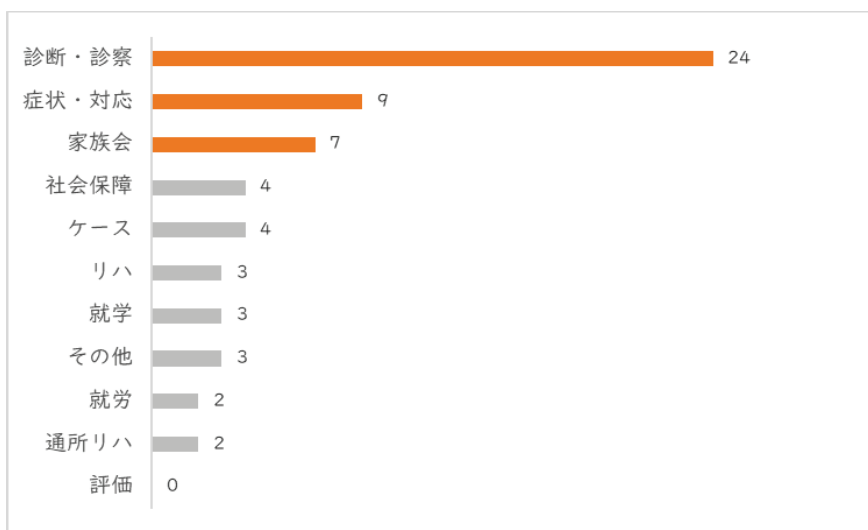


新規ケースが **半数** を占める

9

## 相談支援（H28～R3年度）

③初回相談の主訴（18歳未満受傷発症）



**診断**に関する相談が多い

10

## 調査報告会・その他の会議（H28～H30年度）

<p>調査報告会</p>	<p>■対象：調査協力機関（6機関）、教育庁、県関連部局 など</p> <p>■内容：実態調査の報告、研修会、事業への協力依頼、意見交換 など</p> <p>➡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関における実態把握ができた</li> <li>・研修会も兼ねた所では、職員向けの普及啓発も行えた</li> </ul>
<p>その他の会議</p>	<p>■目的：①小児高次脳機能障害支援体制整備に関する支援の方向性について共通理解を図る</p> <p>②各職域での普及啓発への協力依頼</p> <p>■対象：教育庁、県関連部局、医療機関、保健所</p> <p>➡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援ネットワークが拡大</li> </ul>

11

## 専門部会（H28～H29年度）

- 回数：全7回
- 委員：9名（医療、教育、行政）
- 内容：事例検討  
リーフレット作成  
こども版ガイドブックの作成



### 部会終了後も各職域での取り組みが行われた

（医療：院内のフォロー体制の強化、行政：健診表に既往歴を問う内容を検討）

12

# 普及啓発（H28～R4年度）

■目的：①認知度の向上

②潜在化している子どもを拾い上げる

③教育関係者との顔の見える関係づくりの構築

■配布方法：《主催研修会》

《他機関主催研修会、会議等》

・特別支援教育スキルアップ研修会

・養護部会

・特別支援教育コーディネーター協議会

・校長会 等

※保健所職員、専門部会委員にも協力を仰いだ



・認知度が向上

・リーフレットや各種研修会から相談に繋がり、ケースの掘り起こしにつながった

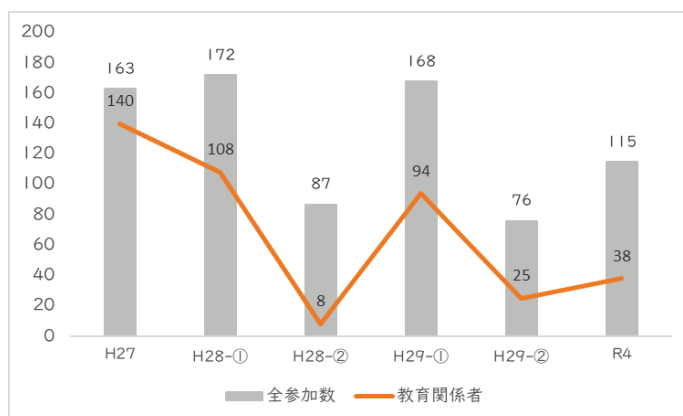
13

# 小児高次脳機能障害支援研修会

■目的：教育関係者等への普及啓発を図る

■回数：7回（4年間）

■参加者数：781名（教職員は413名）



多くの教職員に参加してもらえるように・・・

●部局会議等で意見を聴取（開催時期、テーマ、周知方法等）

●教育庁を訪問し後援・周知依頼を行った

●大学（教育学部）にも周知依頼を行った



14

# 小児高次脳機能障害にかかる医療機関対応状況実態調査（R2年度）



## 【調査方法】

- ・ アンケート調査
- ・ 訪問調査（**保健所職員へ同伴を依頼**）

## 【内容】

- ・ 診断の可否
- ・ 評価、検査の可否 など

- ・ **診断に関する相談が可能な医療機関を把握**することができた
- ・ 医療機関と保健所、センターで顔の見える関係が構築できた

15

## 目次

- 01 小児高次脳機能障害実態調査
- 02 調査結果に基づいた取組
- 03 家族会発足に向けた取り組み
- 04 よりよりホームズの紹介
- 05 まとめ

16



# 家族会発足に向けて取り組み始めたキッカケ

## リーフレット作成に伴う意見交換会（H28年度）

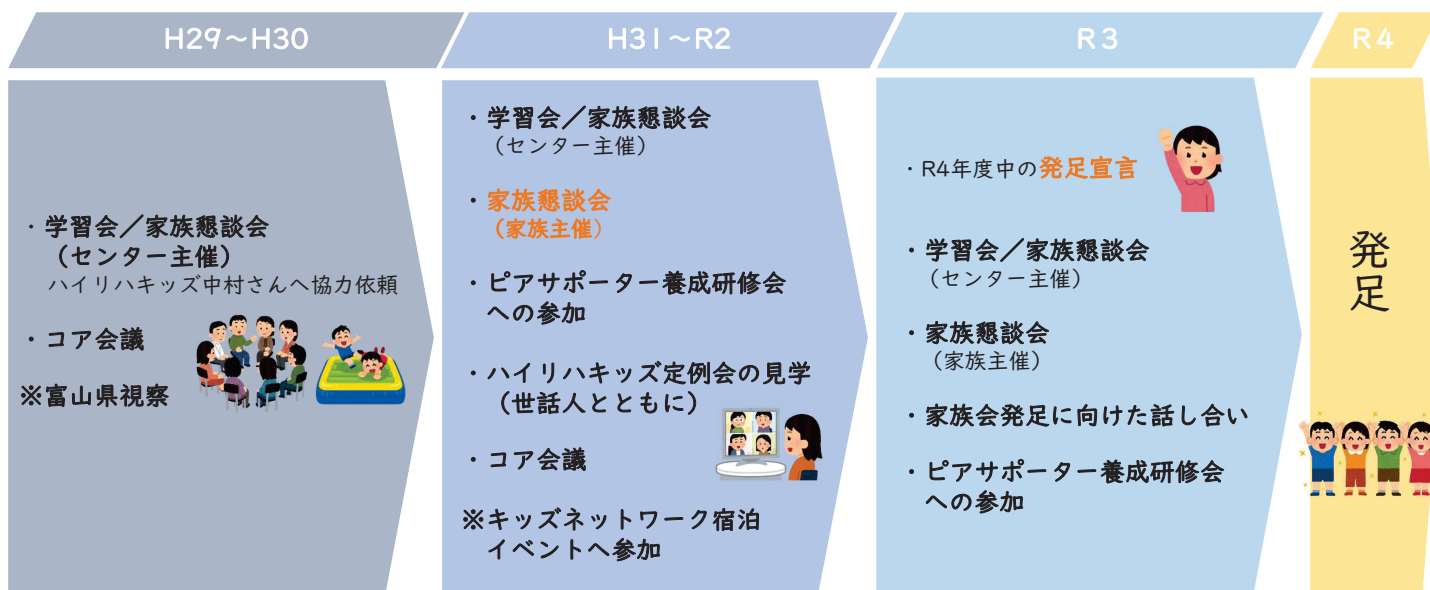
- 参加者：4名（小学生～高校生までの子供を持つ親）
- 感想：
  - ・同じ立場のお母さんたちの話が聞けて、共感できたりした。
  - ・一人で不安を抱えていたが、色々な話が聞けて本当によかった。
  - ・気持ちが明るくなった。
  - ・今日の話しを聞いて、どうにかなりそう、何とかかなりそうと感じた。



家族同士のつながり、家族支援が必要

17

# 家族会発足に向けた取り組み



※：センター職員のみ従事し、家族へ情報提供

18



毎日新聞 (R4.5.15)



朝日新聞 (R4.6.7)



長崎新聞 (R4.5.15)



毎日新聞 (R4.5.29)

# KTNテレビ長崎

ぜひご覧ください



## 目次

- 01 小児高次脳機能障害実態調査
- 02 調査後の取り組み
- 03 家族会発足に向けた取り組み
- 04 よりよりホームズの紹介**
- 05 まとめ

21

## 名前に込めた思い

麻花兒（マファール）

通称：よりより



### よりよりホームズ

- 固い絆で結びあって  
多くの人を結んでいきたい
- 退会しても悩んだ時は  
いつでも戻ってこれる場にしたい

22

# 高次脳機能に障害をもつ子どもと家族の会よりよりホームズ

## ■対象者

18歳未満に受傷発症した子どもとその家族

高次脳機能障害と診断されていない方、大人の方（受傷発症が18歳未満）も参加可能

## ■開催日時

年4回（5月、8月、11月、2月）

第1土曜日 13時30分～15時30分

## ■活動内容

学習会、懇談会（親の話し合い）、子どもの会（レクリエーション）

長崎県高次脳機能障害支援センター  
ホームページ ↓↓↓



## ■お問い合わせ

高次脳機能に障害をもつ子どもと家族の会よりよりホームズ

Eメール yoriyorihomes@gmail.com

23

## 目次

- 01 小児高次脳機能障害実態調査
- 02 調査結果に基づいた取組
- 03 家族会発足に向けた取り組み
- 04 よりよりホームズの紹介
- 05 まとめ

24

## まとめ

- 関係機関とともに普及啓発に取り組み、**認知度は向上**してきている。  
また、教育関係者にリーフレットを配布したことにより「高次脳機能障害かもしれない」という**気づきを得られ**相談に繋がった。
- 障害に対する**理解度は低い**。  
(例：易疲労性を理解できず頑張らせてしまった、個別指導を行えば他の生徒に追いつく 等)
- 関係機関と意見交換を行うことで、**教育委員会や県関連部局との連携が図られ**、現状把握や課題等を整理することができた。
- 中核となる医療機関を把握できたが、**医療機関と教育との連携は十分とは言い難い**。
- 小児に特化した家族会が発足し、**当事者・家族が繋がる場**を作ることができた。

25

## 次年度計画（案）

01

### 普及啓発の継続

- ・教職員や医療従事者等に対する普及啓発

02

### ケース支援を通して支援機関との連携強化

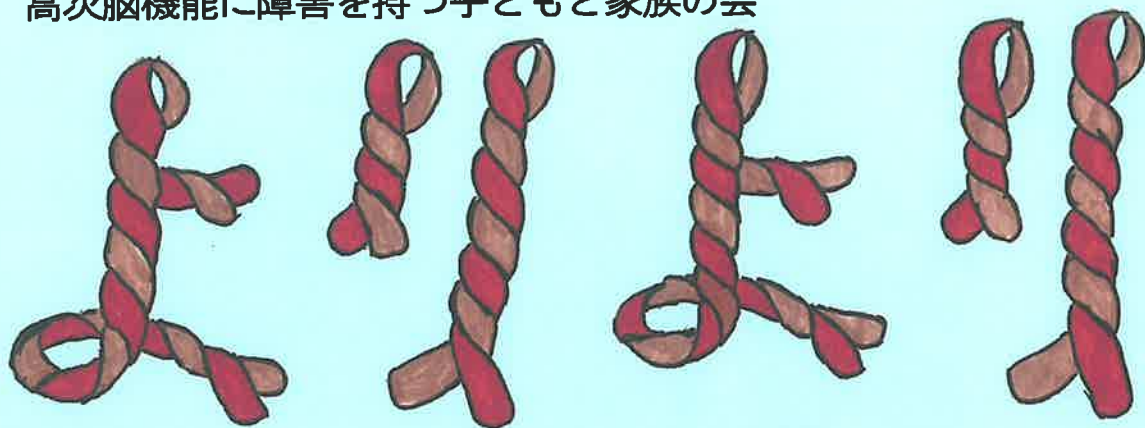
- ・学校訪問、ケース会議の開催

03

### 家族支援の強化

- ・学習会の開催

26



# ホームズ

交通事故・脳炎・脳腫瘍・脳血管障害  
の後に以前にはあまりなかった症状  
ありませんか？

お子さんの成長や将来の不安を  
話してみませんか？

## 対象者

高次脳機能に障害を持つ子どもと家族

## 活動内容

親の話し合い・情報交換・当事者や兄弟児を含めた交流会

～お問い合わせ先～

メールアドレス

yoriyorihomes@gmail.com

一人で頑張らないで

★話さなくてもいい、  
同じ悩みを抱えている  
人と気持ちを共有する  
だけでいい(\*^-^\*)

高次脳機能障害と診断を  
受けてない方でも大丈夫！

